

学校だより 志

令和4年度 No.4

令和4年5月13日

郡山市立小山田小学校

文責 校長 佐久間 誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育を
みんなに



タブレット端末を積極的に活用し、学習する子どもたち

GIGAスクール構想を受け、郡山市では1人1台のタブレット端末環境を早期に整備しました。学校では一人一人の学びの充実のため、タブレット端末を積極的に活用しています。

- 生活科や理科で栽培している植物や飼育している生き物の観察、記録に活用する
- 友達の考えをタブレット画面で読み、自分の考えと比較するために活用する
- 調べたことをまとめ、写真や文字を入れてプレゼンテーションするのに活用する
- タブレット上で練習問題や発展問題に取り組む、また、練習問題の解答をタブレットで受け取り、自分で丸つけをするために活用する
- 体育科で自分の動きを録画し、自分のフォームを確認しながら練習するために活用する
- 音楽科で自分の演奏や友達の演奏を録画し、自分の表現方法を確認するために活用する
- 言葉と写真を組み合わせ、作文や説明文、詩などの作品作りをするために活用する
- 社会科や総合的な学習の時間の課題について調べるために活用する など

5・6年生は、すっかりタブレット端末を使いこなし、様々な場面で活用しています。

また、1年生は、学校が始まって1ヶ月半程度ですが、すでにタブレット端末の操作方法を学習し、学校探検の際には、訪問した場所の写真を撮ることができるようになりました。

タブレット端末を「文房具のように」使い、学習内容が充実するように、これからも教師間で情報共有をしながら工夫して授業に取り組んでまいります。

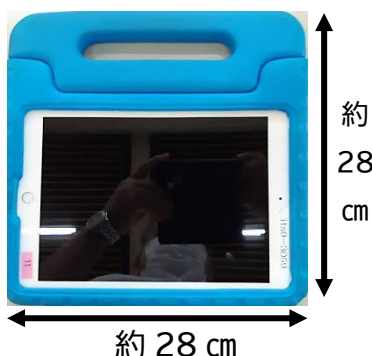


タブレット端末持ち帰りについて

子どもたちがタブレット端末を学習の効果的なツールとして活用しながら、情報活用能力等、これからの社会に必要な資質・能力を育成するために、本市ではタブレット端末を持ち帰り、調べ学習や家庭学習等で活用できるようにしています。本校でも、すでに5・6年生がタブレット端末を持ち帰り、家庭学習に活用しています。また、今後、4年生、3年生も持ち帰りを始めます。1・2年生については、今後、子どもたちの活用方法を確認めながら、持ち帰りの時期を検討していきます。

なお、タブレット端末を持ち帰るにあたり、転倒や雨に濡れることなどにより「思わぬ破損」をしたり、「盗難の被害」に遭ったりする危険があるため、タブレット端末をそのまま持ち帰ることはしないように話をしていきます。 タブレット端末は、手提げ袋に入れる等のご協力をお願いします。

【手提げ袋の例】…持ち帰るタブレットです。大きさを考える際の参考にしてください。



タブレット端末の大きさ
(縦) 約 28 cm、(横) 約 28 cm
(厚) 約 3.5 cm、(重さ) 約 700 g
※ タブレットの持ち帰り用に、タブレットが入る大きさの手提げ袋をご準備ください。